



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社 A B E J A 上場取引所 東
コード番号 5574 URL <https://www.abejainc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 C E O (氏名) 岡田 陽介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 英 一樹 TEL 03-6387-9222
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の業績 (2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	768	17.7	94	66.7	94	66.4	85	79.0
2024年8月期第1四半期	653	-	56	-	56	-	47	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	9.19	8.26
2024年8月期第1四半期	5.51	4.59

(注) 2023年8月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	4,432	4,004	4,004	3,898	90.3
2024年8月期	4,239	3,898	3,898		91.8

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 4,001百万円 2024年8月期 3,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年8月期	-				
2025年8月期 (予想)		0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の業績予想 (2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,260	17.8	220	△24.2	220	△23.3	200	△8.6	21.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期1Q	9,395,600株	2024年8月期	9,260,900株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	30株	2024年8月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期1Q	9,285,461株	2024年8月期1Q	8,650,701株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げております。この企業理念のもと、テクノロジーの産業界への社会実装を支援することにより、産業横断的なイノベーションを創出することを目指し、ミッションクリティカル業務へのAI導入支援のため、基盤システムとなるABEJA Platformの開発・導入・運用を行っております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進むなか、国内景気は緩やかな回復の動きがみられます。一方で物価上昇、海外経済の不透明感、ウクライナや中東情勢の長期化等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業環境としましては、ビジネスプロセスのデジタル化や既存のビジネスモデルを変える新たな試み、大規模言語モデル (Large Language Model : LLM) といった生成AIへの関心・利活用など取組みは広がりをみせ、企業のIT投資への意欲は引き続き強いものとなっております。今後は少子高齢化に伴う労働生産人口の減少、働き方改革を背景に、多くの企業においてその動きが一層活発化するものと捉えております。

このような環境の中、当社はミッションクリティカル業務における堅牢で安定的な基盤システムとアプリケーション群であるABEJA Platformを提供し、生成AIをはじめとする最先端技術による運用を人とAIの協調により実装してまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高はLLM案件が牽引したことで想定を上回り、第1四半期の過去最高の売上となりました。売上総利益率は60%超と良好な水準を維持しております。また、引き続き組織を巡航速度にのせる過程にあるものの、前期から取組んでいる社内の運営体制の見直し等の効果は当第1四半期の経営成績にもあらわれております。継続的な改善及び企業や事業の状況をより見定めた質の高い提案を推進し、安定的な成長に繋げてまいります。

また、当事業年度においても引き続きLLM関連を注力領域として推進してまいります。2024年10月に採択されました国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構 (NEDO) の「競争力ある生成AI基盤モデルの開発 (助成)」プロジェクトでは、前回の採択プロジェクトから得られた知見を活用し、「高性能かつパラメータを抑えた小型モデル」の研究開発を進めています。加えて、顧客企業へのサービス提供を強化するとともに、当社が共同研究開発機関として参画する日本語版医療LLMの開発にも注力してまいります。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高768,723千円 (前年同期比17.7%増)、営業利益94,611千円 (前年同期比66.7%増)、経常利益94,717千円 (前年同期比66.4%増)、四半期純利益85,359千円 (前年同期比79.0%増) となりました。

当社はデジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、売上高については、「トランスフォーメーション領域」と「オペレーション領域」に分類しており、2024年8月期及び2025年8月期第1四半期累計期間の実績は次のとおりとなります。

(単位：千円)

領域の名称	2025年8月期 第1四半期累計期間 (実績)		2024年8月期 (実績)	
		構成割合		構成割合
トランスフォーメーション領域	580,623	75.5%	2,104,350	76.1%
オペレーション領域	188,100	24.5%	661,901	23.9%
合計	768,723	100.0%	2,766,251	100.0%

トランスフォーメーション領域は、顧客ニーズに対応したABEJA Platformの導入支援とその周辺サービスを提供しており、仕組みづくり・構築フェーズに位置づけられます。なお、仕組みづくり・構築は段階的に進めていくため、多くの収入はフロー型 (都度契約) となりますが、一方で長期間にわたる計画的なプロセスとなるため、継続顧客の割合は高くなっております。

・継続顧客からの売上比率 (注) 81.2% (2024年8月期)

(注) 継続顧客からの売上比率は、既存顧客 (前事業年度に売上が発生した顧客) の当事業年度の売上高/当事業年度の売上高

オペレーション領域は、ABEJA Platform上で人とAIの協調による運用を行う運用フェーズに位置づけられます。このため、主な収入はストック型の継続収入となります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は4,432,727千円となり、前事業年度末に比べ192,907千円増加いたしました。これは主に債権の回収により現金及び預金が108,868千円増加したこと、売上高増加に伴い売掛金及び契約資産が56,301千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は428,109千円となり、前事業年度末に比べ86,350千円増加いたしました。これは主に売上高増加に伴い未払金が62,215千円増加したこと、売上高増加に伴い未払消費税等が48,060千円増加した一方で、賞与の支給に伴い賞与引当金が49,990千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、4,004,618千円となり、前事業年度末に比べ106,556千円増加いたしました。これは新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ10,874千円増加したこと及び四半期純利益の計上により利益剰余金が85,359千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年10月10日に開示いたしました「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,868,910	2,977,778
売掛金及び契約資産	452,836	509,137
仕掛品	5,450	4,228
貯蔵品	4,588	4,413
未収入金	685,223	693,482
その他	92,718	113,780
貸倒引当金	△738	△738
流動資産合計	4,108,988	4,302,082
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	14,288	16,427
減価償却累計額	△4,444	△5,773
工具、器具及び備品 (純額)	9,843	10,653
有形固定資産合計	9,843	10,653
無形固定資産		
ソフトウェア	18,479	17,482
無形固定資産合計	18,479	17,482
投資その他の資産		
繰延税金資産	95,508	95,508
その他	7,000	7,000
投資その他の資産合計	102,508	102,508
固定資産合計	130,831	130,644
資産合計	4,239,819	4,432,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	16	426
未払金	87,818	150,033
未払法人税等	1,696	18,395
賞与引当金	116,853	66,862
その他	135,373	192,390
流動負債合計	341,758	428,109
負債合計	341,758	428,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	832,282	843,156
資本剰余金	2,615,859	2,626,734
利益剰余金	445,945	531,304
自己株式	—	△69
株主資本合計	3,894,087	4,001,126
新株予約権	3,974	3,491
純資産合計	3,898,061	4,004,618
負債純資産合計	4,239,819	4,432,727

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	653,370	768,723
売上原価	233,833	281,897
売上総利益	419,536	486,826
販売費及び一般管理費	362,782	392,215
営業利益	56,754	94,611
営業外収益		
受取手数料	381	625
その他	251	104
営業外収益合計	632	729
営業外費用		
支払利息	79	—
為替差損	23	467
株式交付費	366	155
その他	0	0
営業外費用合計	469	623
経常利益	56,916	94,717
税引前四半期純利益	56,916	94,717
法人税等	9,222	9,357
四半期純利益	47,693	85,359

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

当社は、デジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

当社は、デジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	454千円	2,326千円